

『 社会人基礎力 』

日本赤十字放射線技師会 副会長兼広報担当
清水文孝 (深谷赤十字病院)

全国赤十字放射線技師会1200人強の会員の皆様、毎日の業務お疲れ様です。

副会長兼広報担当の清水です。広報は原稿をお願いする立場にて、会員の皆様、役員の皆様に快くお引き受けいただき感謝しております。今回時間的な余裕も無かった為、当方自ら担当というような次第にて、寄稿させていただきました。

さて、何を書こうかと悩みながら記憶をたどり、このような題材となった次第です。

皆様は「社会人基礎力」という言葉をご存知でしょうか。私自身知る由もありませんでした。部内の業務改善を行うにあたり、スタッフの人材育成をと考えていた頃、この文言に行き当たりました。

「社会人基礎力」とは、経済産業省において、我が国の経済活動等を担う産業人材の確保・育成の観点から、職場等で求められる能力（「社会人基礎力」）の明確化、産学連携による育成・評価のあり方等について、平成17年7月から経済産業政策局長の私的研究会として「社会人基礎力に関する研究会」（座長：諏訪康雄法政大学大学院教授）を開催し、検討を進めてきたそうです。大まかに纏めると、「職場や地域社会の中で多様な人々とともに仕事を行っていく上で必要な基礎的な能力」（「社会人基礎力」）を定義された「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力といわれております。そしてこれらが人事評価に取り入れられているようです。それを図式化されたものが、図-1で示されます。

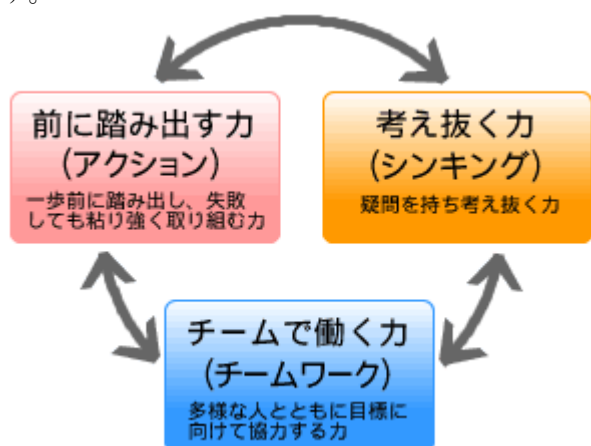


図-1 社会人基礎力を構成する3つの能力

そして、これらの3分野が12の細目に別れ、より判りやすくなっています。

前に踏み出す力

- ・「主体性」：物事に進んで取り込む力
- ・「働きかけ力」：他人に働きかけ、巻き込む力
- ・「実行力」：目的を設定し確実に行動する力

考え抜く力

- ・「課題発見力」：現状を分析し目的や課題を明らかにする力
- ・「計画力」：課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力
- ・「創造力」：新しい価値を生み出す力

チームで働く力

- ・「発信力」：自分の意見をわかりやすく伝える力
- ・「傾聴力」：相手の意見を丁寧に聴く力
- ・「柔軟性」：意見の違いや立場の違いを理解する力
- ・「状況把握力」：自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
- ・「規律性」：社会のルールや人との約束を守る力
- ・「ストレスコントロール力」：ストレスの発生源に対応する力

となります。これらはネット検索により簡単に見出せますので、一度はご覧になって見て下さい。

このようなことをスタッフに部内の勉強会で発言すると、また訳のわからないことを技師長が言い出したと不評を買ってしまいそうですが、スタッフの育成の参考にとともなっています。しかし、このようなことを発言している私こそが、社会人基礎力が不足しているため、スタッフを巻き込みスキルアップをしたいと思っております。

当院では、5年前より当院独自の人事評価や昇任試験が導入されております。そして、昨年度より本社主幹の評価が実施されました。この時、評価に伴った個人面談では、この社会人基礎力を中心に面談したような記憶があります。今後もスタッフを育成するに当たって、この社会人基礎力を主に心がけて行きたいと考えております。

これまで、県技師会、地区技師会の役員を経験し、そして今日本赤十字の役員として活動させていただいているということは、この基礎力を育ていただき、更に研鑽をさせていただいていると思っております。井の中の蛙だけではなく大海を知ること、更なる社会人基礎力を身につけられると思っております。今後も役員の皆様、会員の皆様のご指導をよろしく願いいたします。

何分にも恥ずかしがりやな者で、写真は割愛させていただきましたこと、ご了承下さい。